

○中央 ☎072-950-5501 (月)休館
 ○陵南の森 ☎072-952-2750 (金)休館
 ○東部 ☎072-950-2002 (金)休館
 ○古市 ☎072-958-0050 (月)休館
 ○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (火)休館
 ○丹比 ☎072-937-2355 (金)休館
 ○羽曳が丘 ☎072-958-8653 (金)休館
 ☎072-957-5553 (金)休館
 開館時間 10:00 ~ 17:30
 13:30 ~ 16:30 開館
 全館休館 毎月最終水曜 (12月を除く・祝日の場合は翌日)

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (中央は平日 10:00 ~ 20:00 土日祝 10:00 ~ 18:00)

おはなし会 (10月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	5日(土) 19日(土)	11:00 ~	一般	ごちそうよくばりの秋
	13日(日) 27日(日)	14:00 ~	児童	神さまのいろいろ
	19日(土)	15:00 ~	特集1	男女共同参画特集・多様性を考える
陵南の森図書館	6日(日) 13日(日) 26日(土)	11:00 ~	特集2	ハンコを楽しもう
	19日(土)	15:00 ~	特集3	日本百名山
	20日(日) (小さい子向け)	11:00 ~	一般	おいしいは正義!
東部図書館	20日(日) (少し長いお話を聞ける子向け)	11:30 ~	児童	でんしゃのほん
	9日(火)	10:30 ~	オノマトペワールド	
羽曳が丘図書館	12日(土) 26日(土)	11:00 ~	集まれ! くいしんぼうさん♪	
古市図書館	定例のおはなし会はありません		一般	てくてく散歩♪
			児童	ほんのなかは、どんな「あき」?
丹比図書館	26日(土)	10:30 ~	秋を楽しむ	

◇「気になる・手にとる・本のPOP」巡回展
 河原城中学校の生徒の皆さんが授業で製作した本のPOPを、紹介された本とともに陵南の森図書館で展示します。たくさんの力作をどうぞご覧ください。

◇秋のシニアのためのおはなし会※

日時 10月10日(木) 15:10頃より
 (ラジオ体操終了後)
 場所 陵南の森 歴史資料室
 主催 おはなしの森
 内容 「赤馬伝説」「山の上の火」ほか

◇書庫見学※

日時 10月14日(月) 10:30 ~ 11:00 ~ 14:00 ~ 14:30 ~
 各回20分間

場所 陵南の森図書館 書庫
 定員 各回10人まで
 対象 図書館利用カードをお持ちの方

◇大人向けおはなし会※ ちょっとおはなし聞きに行こ会!! 第2弾 ~ぶらっと寄ってって~

日時 11月8日(金) 13:30 ~ (30 ~ 40分程度)
 場所 古市図書館
 語り手 おはなしの森

※のイベントはいずれも申し込み不要・当日先着順です。

今月の館内整理日は

10月30日(木)

市内の図書館は全館休館となります。

~図書館で映画を楽しもう~『わくわくドキドキ★ムービーシアター』(中央)

日時・内容 10月27日(日) 『ボーン・コレクター』(吹替版) 開場13:30 ~ 上映14:00 ~
 場所 LICはびきの映像セミナー室 対象 市立図書館の利用カードをお持ちの方(先着45名)
 申込 10月2日(火)から10月26日(土)までに中央図書館へ来館・電話(950-5501)
 または右の二次元コードからお申し込みください。



◇本のリサイクル市 ☆ 2024

日時 10月6日(日) 11:00 ~ 16:00
 場所 LICはびきの1階アトリウム
 当日まで、中央図書館にて資料を3点借りるごとにチケット1枚をお渡します。
 (リサイクル市当日のチケット配布は15:00まで)
 チケット1枚につき1点のリサイクル本やCDと交換できます。
 問合せ 羽曳野市立中央図書館



秋の読書月間イベント はびきの図書印めぐり

期間 10月1日(火) ~ 11月30日(土)の開館日
 期間中に市内の図書館で資料を借りられた方に、図書館オリジナルの「図書印帖」と「特別図書印」(書置き)をプレゼントします。
 図書印のデザインは館ごとに違いますので、この機会に各図書館をめぐってみてくださいね。

臨時休館のお知らせ

10月12日(土) ~ 13日(日) 古市図書館は祭礼のため臨時休館させていただきます。(なお14日・15日は定例の休館日です)これにともない、10月11日(金)の開館後から15日(火)まで、同館のブックポストが使用できませんのでご注意ください。

サラダボウル

先日、娘が北京から帰国しました。約1年間の留学はとても刺激的だったようで、たくさんの土産話を花を咲かせてくれました。無事に帰国し、一回り成長した我が子の姿を見て、私もほっと胸をなで下ろしたところです。

帰国して早速、スマートフォンのビデオ通話を使って、何やら話をしているのでのぞいてみると、同じように留学していた韓国人やロシア人、中国系アメリカ人の女の子たちが画面から「你好!」とあいさつをしてくれました。

娘や彼女たちも、中国では「外国人」。見知らぬ土地でいろいろ気苦労も多かったことでしょう。「外国人」同士で意気投合

したのか、すぐに打ち解けてしまったとのことでした。

肌の色や、民族の壁を越えて、人と人が理解しあい、友好の輪が広がっていくことは素晴らしいことだと思います。相手のことをもっと知りたい、例えば、どんな家に住んでいるんだろう? どんな食事をしているんだろう? 家族は? 趣味は? ... 興味は尽きることがありません。「離れてもまた会いたいね」とお互いが感じあうことで、国境を越えた希望の輪が平和を願う思いへと変わっていきます。

異国の文化に違和感を覚えることはまああることですが、自分の国のことを「おかしいのでは?」と感じることもあるかと思います。ましてやそこにいろいろな国から人がやってきて、思いが錯綜している。まさに「サラダボウル」の中にいる

という多様性(ダイバーシティ)を実感する瞬間です。

「これって変だなあ」と思っている、相手を尊重し受け入れていく包容力、やさしさが自然と身についていきます。それは、自分が「外国人」であるということでも自らを客観的にみることができ、そこで「気づき」が生まれ、その「気づき」が原動力になっているのではないのでしょうか。

いま世界では各地で悲劇が繰り返されています。平和な日本からは見えないこともたくさんあります。相手のことを思いやり、みな同じ人間なんだと考えることが、平和への第一歩になるのではないかと感じる今日この頃です。

はびきの しじんけんけいはつすいしんきょう ぎ かい
 羽曳野市人権啓発推進協議会